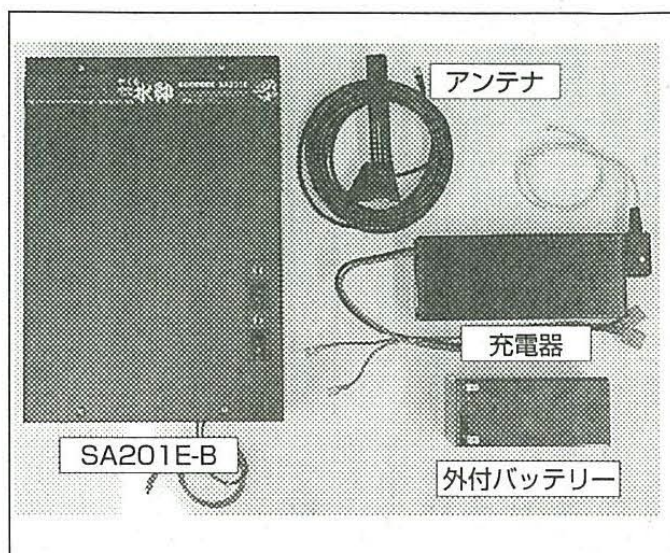


停電でもマンホール制御

小松電機産業 制御盤に外付電源取り付け



小松電機産業（本社・松江市、小松昭夫社長）は、インターネットで上下水道施設を制御する「やくも水神ネットワーク」の多目的管理システムとして、マンホールポンプ長時間停電対応管理

端末（製品名「SA201E-B」）を開発した。停電の際に大容量外付バッテリーへ自動的に切り替わり、水位監視を継続することで、効率的な汚水管理につながるとしている。

マンホールポンプ長時間停電対応管理端末「SA201E-B」

「やくも水神ネットワーク」は平成12年10月の発売以来、先月末で全国240自治体、5250

施設で採用。マンホールポンプ制御盤では停電時、非常用電源で運転継続してきたが、長時間停電を繰り返す場合にも対応できるよう、管理端末を改良した。

他社製品を含む既設制御盤に、外付バッテリーを取り付ける容易な工事、フロート4点や圧力式水位計1台も接続可能。バッテリーは3時間、6時間対応の2タイプで、停電復旧後3時間で約90%まで充電する。また、バッテリー電圧が約50%低下、約50%過放電の場合、警報する装置

も備えている。

同社のマンホールポンプ制御盤は、独自の停電時上流停止機能を標準装備。なお、同社の制御盤で水位情報を収集し、バキュームカーなどを効率的に配車することで、溢水事故を未然に防止した事例もある。

デジカメ

リコー

リコーは、東日本大震災の被災地復興のため、